

平成27年度
防災アンケート調査報告書



浜松市浜北区自治会連合会

調査研究委員会

浜北区自治会連合会調査研究委員会「防災アンケート」

浜北区自主防災隊連合会93隊中93隊が回答（回答率100%）

1 防災訓練について

① 年間の防災訓練の実施回数は、何回実施していますか。

0回	1回	2回	3回	4回	計
0	34	46	7	6	93
0%	36.6%	49.5%	7.5%	6.5%	

② 防災訓練はどのような災害を想定していますか。（複数回答可）

東海地震	台風	水害	一般火災	その他	計	母数
84	12	12	26	1	135	
62.2%	8.9%	8.9%	19.3%	0.1%		135
90.3%	12.9%	12.9%	27.96%	0.1%		93

※その他の回答（大規模災害）

2 備蓄品について

① 公民館、防災倉庫等に災害用の物資を備蓄していますか。

災害用の物資の備蓄あり	災害用の物資の備蓄なし	計
92	1	93
98.9%	1.1%	

② 備蓄品はどのようなものですか。（複数回答可）

非常食	飲料水	炊き出し用釜	ガソリン等の燃料	パール	チェーンソー	簡易トイレ	応急医療品	その他	計	母数
78	49	77	71	70	24	17	66	14	466	
16.7%	10.5%	16.5%	15.2%	15.0%	5.2%	3.6%	14.2%	3.0%		466
83.9%	52.7%	82.8%	76.3%	75.3%	25.8%	18.3%	71.0%	15.1%		93

※その他の回答（炊き出し用鍋、スコップ、メガホン、発電機、テント、コンロ、ガス、担架、ヘルメット、バケツ、カンパン、ジャッキ、薪、毛布、三角巾、マスク、ビニール手袋、土のう袋、投光器、コードリール、ガソリン携行缶、ブルーシート）

③ 備蓄する非常食、飲料水等で50人の住民が、3食で概ね何日生活出来ると思いますか。

概ね1日	2～3日	4日以上	備蓄は殆どない	計
26	43	7	17	93
28.0%	46.2%	7.5%	18.3%	

3 自主防災隊の編成について

① 自主防災隊を編成していますか。

自主防災隊を編成している	自主防災隊を編成していない	計
91	2	93
97.8%	2.2%	

班長を主として編成	班長以外を主として編成	計

83	8	91
91.2%	8.8%	

② 自主防災隊の構成員はだれですか。

③ 自主防災隊を対象とした独自の訓練を行なっていますか。

独自の訓練あり	独自の訓練なし	計
48	45	93
51.6%	48.4%	

4 可搬ポンプについて

① 自主防災隊員による可搬ポンプの操法はどうか。

操法練度は高い	操法練度は高くない	操法練度は低い	可搬ポンプなし	計
34	40	16	3	93
36.6%	43.0%	17.2%	3.2%	

② 可搬ポンプ用の消火栓、防火水槽、防火井戸の位置は把握していますか。

把握している	概ね把握している	把握していない	可搬ポンプ用はなし	計
51	37	2	3	93
54.8%	39.8%	2.2%	3.2%	

③ 消火栓の開閉のための専用工具はありますか。

消火栓の開閉専用工具あり	消火栓の開閉専用工具なし	消火栓なし	計
55	37	1	93
59.1%	39.8%	1.1%	

④ 可搬ポンプは今後も必要と思いますか。

必要	災害時の効果に疑問	わからない	必要ない	計
38	48	5	2	93
40.9%	51.6%	5.4%	2.2%	

5 消火器について

① 自治会(町内会)の区域内に消火器を設置していますか。

区域内に消火器を設置している	区域内に消火器を設置していない	計
93	0	93
100%	0%	

② 消火器の数量はいかがですか。

現状でよい	少ないと思う	わからない	計
68	20	5	93
73.1%	21.5%	5.4%	

6 高齢者等の避難と安否確認について

① 町内の高齢者・障害者等の災害時要援護者は把握していますか。

概ね把握している	把握は不十分である	把握していない	計
60	25	8	93
64.5%	26.9%	8.6%	

② 災害時には、民生委員と連携して災害時要援護者を安否確認できると考えますか。

安否確認できる	民生委員との連携は不十分	現状では安否確認は困難	計
52	24	17	93
55.9%	25.8%	18.3%	

7 町内会住民の安否確認について

① 災害時に、各班単位で住民の安否確認ができる体制がありますか。

班長等を通じて住民の安否確認できる	住民の安否確認は困難	計
67	26	93
72.0%	28.0%	

② 災害時に無事を知らせる「黄色の布印」等の目印を、住民に配布していますか。

目印を配布している	目印を配布していない	計
16	77	93
17.2%	82.8%	

8 避難所としての公民館(公会堂)について

① 災害時の住民の避難場所は、原則として市が指定する小中学校等の避難所ですが、貴町の公民館(公会堂)を避難所として受け入れることを想定していますか。

想定している	必要な場合は受け入れる	現状では想定していない	計
33	34	26	93
35.5%	36.6%	28.0%	

9 町内危険個所の把握について

① 貴町では、自治会(町内会)の管内地図を作成していますか。

管内地図を作成している	管内地図を作成していない	計
50	43	93
53.8%	46.2%	

② がけ崩れ危険箇所、水害時の冠水箇所、ブロック塀等の倒壊危険箇所等の町内の危険予想場所は把握できていますか。

把握している	概ね把握している	把握は不十分	計
6	37	50	93
6.5%	39.8%	53.8%	

10 避難生活について

① 避難所での避難生活は、避難者による自主運営であることを知っていますか。

避難者の自主運営であることを知っている	避難者の自主運営であることを知らない	計
72	21	93
77.4%	22.6%	

11 市避難所（小中学校）、市地区防災班等との連携について

① 市避難所（小中学校）までの避難経路に不安がありますか。

概ね避難できると考える	場合により不安がある	計
52	41	93
55.9%	44.1%	

※不安箇所（学校までの距離、安全確保、橋、川、坂道、冠水場所、水路、水害時）

② 市避難所（小中学校）が開設された場合、避難生活時の仮設トイレの設置場所や飲料水の貯蔵タンクの位置、避難所の防災倉庫の場所、自治会ごとの避難所（体育館等）などをご存じですか。

市から説明を受け承知している	概ね承知している	よく分からない	計
41	39	13	93
44.1%	41.9%	14.0%	

12 その他、お気付きの点やご意見等があれば記入して下さい。

備蓄品	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は、避難所として想定しているが、避難者の自主管理のため、救援物資等の配付は想定していない。
自主防	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨時の土砂災害や大水が出た時などの対応が地域ごとに異なるため、災害マニュアルが必要と考える。 ・災害時に無事を知らせる布は、既に購入済み、運用マニュアルを作成して配布する予定 ・赤佐7区の避難マニュアルを作る必要があると思っているが、市から指導していただけるとありがたい。例えば、緊急避難所の運営方法、水、飲料の備蓄量の目安など。 ・基本的な組織図、訓練は実施しているが、災害発生時、機能するのか？不安がある。機能すべき体制再編を考えている。
耐震性	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強の助成金がある事は知っているが、高額なため地震に対応した家が少ない。 ・公民館の耐震性に問題があると思われるが、耐震診断の費用がないため、把握が困難。 ・防災訓練は公民館で実施しているが、実際の災害発生時には、危険箇所となる可能性もあります。せめて耐震診断の費用の補助をお願いしたいと思います。 ・避難所となっている学校にも問題があります。市の担当者及び多くの方は、学校（避難所）は、耐震が完了しているので行けばそのまま避難できると考えていますが、耐震化されているのは、あくまでも構造体のみであって、天井、間仕切、照明、家具類は耐震化されておりません。この辺りをもう少し深く考えた避難計画にしないと混乱のもととなると思います。（8月8日の防災研修会でも講師が説明されていました。）

啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな項目や内容について防災隊長、防災委員だけが知っていても何もならない。要は一般の人たちに対してどのような啓蒙活動を推進していくかがポイントである。食糧、飲み水も町内として確保するよりも各家庭において確保するほうがしやすいし確実だと思う（人員および好み等を考慮すると）。又避難所は小学校であり、町内会としての役割においてどうやるべきかがよく理解できない。 ・防災に対する教宣が十分にされず、何か他人事のような雰囲気を感じられる。今後はビデオ等の上映をしたりして、防災の意識向上を計る予定です。 ・染地台は新興住宅地ということもあり、防災マップ（浜北区）の認知度が低いと思われる。各家庭で防災マップを使った避難経路、安否連絡手法等の机上訓練をしてもらうため、どのように広報していけば良いか考えていく必要がある。
安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ・各世帯構成の提出を強制できないため、町内会として完璧な安否確認を行うことが出来ません。
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に大災害に遭っていないので、訓練といっても緊迫感の無い年中行事に感じられる。今年の課題は問題点の洗い出しと考えている。 ・今まで同じ訓練内容にて防災訓練を実施してきましたが、今後調査研究会の資料を参考にして自治会の防災訓練に取り入れていきたいと思えます。 ・自助の見地から、町内会の事情を考慮した地元としての対応についても御検討をお願いいたします。 ・12月の地域防災訓練について、町内全員参加を目指したい所であるが、参加の意義がある訓練を考えたい。過去2年の状況も合わせ今年も工夫していきたい。訓練メニューの中で①避難訓練、初期消火訓練など定例的訓練②3年目となる安否確認訓練③防災研究会のようなメニュー以上3本柱を考えている。③については、座学、救命救急訓練実演に工夫したい。できれば外部講師の招へいも合わせて考えたい。
避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・内野台地区の避難所は内野小学校となっているが、内野地区の防災地図を見ると川の氾濫地区また液状化地区となっている。どうしてこんな危険な場所を避難所としているのか理解できません。内野台の多くの人は災害時には、内野小学校へ避難することを想定していません。内野台、染地台地区の避難所を設置して頂くことを強く要望いたします。 ・避難所は北浜南小学校ですが、緊急時には寺島公会堂を利用できることを毎月の班長会で周知しています。 ・避難所生活が長くなることを想定して備蓄している非常食、飲料水等を分け合う。 ・今の訓練は、訓練のための訓練で実際災害が起こった時、どうなるのか不安である。また、地元の公民館が安全な避難所ではないので2キロ離れた小学校、中学校への避難が想定できない。 ・避難場所の小学校が水難に遭いそうな確率が高いと思うので、場所の選定に疑問を感じます。 ・小中学校が避難場所となった場合の教室の解放について、教育委員会の方針は？（応急救護所は保健室等の室内に解説すべきだと考える） ・市指定避難所を市内小中学校に限らず、高校や特学校等は指定できないか。 ・小中学校の体育館の地震対策は十分できているのか。 ・当自治会公民館は老朽化の為、機材備蓄品等保管は準備しておりますが、建屋に入る事は危険と思われるので、早めの避難所（小学校）の開設をお願い致します。

可搬ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・防火井戸が無くなったため、去年からポンプの訓練はしていません。 ・可搬ポンプについては、消火の際は危険を伴い不必要と考えるが、冠水の際の排水手段として使用できるのでは？ ・可搬ポンプ使用について水の確保が難しく放水訓練が出来ないのが現状です。 ・可搬ポンプは、始動、性能もあまり良いとは思えず、緊急時に、対応できないと思われる。 ・可搬ポンプを火災現場に運ぶのは難しいと思います。 ・東海地震を想定し防災訓練をしていますが、避難所での安否確認は出来るが、家屋倒壊等での人命救助の為の訓練及び救助用の器具の準備をしていこうと思って、今回チェーンソーを購入。可搬ポンプも準備していますが、災害等必要な所まで現在の防水槽、防水井戸で対応出来るか。ポンプで水を出せば良いが考えもの。 ・可搬ポンプでの消火活動は実効性に乏しいと思われるので、チェーンソー等の備蓄品に力を入れた方が良いと思う。 ・消火栓を使えるようにできないでしょうか。
水害	<ul style="list-style-type: none"> ・長雨及び短時間の強い雨のため、道路の冠水が見られる。(側溝にて処理できず) 町内にも数箇所あると思われるが、通学路、生活道路にもなっており、雨量との関係を把握し、改善の検討が必要だと思う。 ・町内に大雨が降った時、床下浸水する所が10軒程あります。可搬ポンプは、使用できる状況ではありません。防災用の発電機がありますので、ベビースイパー(水中ポンプ)があるとよいのですが、万が一の場合、市から数台貸与などしていただけませんか？ ・小中河川の氾濫程度によるが、床上浸水等の人命に影響ない冠水は備えられるが、人命に及ぼす程の大水害については、想定も対応も難しい。 ・今回の関東、東北の水害のような場合、連絡・確認ができるか避難ができるか不安である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに答えていて、知らないことが自分自身多いことに気付きました。これらの情報がいつでも見られるものがあると助かると思います。 ・毎年12月に提出している防災用資機材一斉点検の防災用資機材数量確認表のデータも活用すると良いと思います。 ・東海地震で大きな災害が発生した場所の不安はある。 ・避難後の地域の治安維持に不安がある。(防犯巡回時での事故、火災等) ・避難所生活時、近辺にある企業の協力が必須となる。(地下水、非常用電源、場合によっては消火設備等の提供) ・防災(啓発)DVDが区役所に16本しかないのは不便である。利用するのは12月の地域防災訓練時に集中する。 ・平成25年3月発行の浜北区版避難行動計画(保存版)に、避難場所及び救護所の明示がありますが、今現在、浜北医師会と綿密な打合せがなされていないようです。具体化されていないものを重要な書類に、さも具体化されているように記入するのはどうか？トリアージの件についても各救護所で行い、拠点病院には、救護所からトリアージが済んだ人(重傷者)だけが運ばれ拠点病院で治療を受けることになっているが、日赤病院での訓練ではトリアージから行っている。この辺りの調整(市との連携)をうまく行えば日赤で治療を受けられる人数が増えるのではないかと思います。 ・学校の防災倉庫のカギは、地域の防災の方が管理しているのか学校で管理しているのか、災害が起きた時、倉庫のカギは誰が開けてもらえるのか？